

いつも一緒 富山のペットたち



廣瀬 僚

廣瀬動物病院院長
(富山市石坂新)

小型犬の骨折

犬の骨折というと、交通事故や高い所からの転落が原因で起きるとイメージする人が多いと思いますが。ところが近年は「ソファから滑り落ちた」「椅子からジャンプした」など、日常のささいなことが原因で小型犬が骨折するケースが増えています。それが、**橈尺骨骨折**です。現在、犬の骨折で最も多いといわれています。橈骨と尺骨は、肘から手首の間に並行してある骨です。一度に両方折れることが多く、橈尺骨骨折とまとめて呼ばれています。

橈尺骨骨折の増加には、国内での人気犬種が大きく関係しています。この骨折を起こしやすい犬種は、トイ種(トイ・プードル、チワワ、ポメラニアン、パピヨン、ヨークシャー・テリア、マルチーズなど)とイタリアン・グレーハウンドです。いずれも現在、国内の人気ランキングで上位に入っています。

細く折れやすい
トイ種はもともと体に対して



橈骨 尺骨 骨折部 手首



骨折部にプレートを入れたトイ・プードルの足のレントゲン画像

↑ 橈尺骨骨折を起こしたポメラニアン犬のレントゲン画像。小型犬の骨は細く折れやすい

抱っこをしている時に、腕の間をすり抜けて落ちてしまい、骨を折るケースも珍しくありません。イタリアン・グレーハウンドも同様です。

高年齢者がいる家庭では「滑らかな」「転ばれん」といった声掛けが日常的に聞かれると思います。高年齢者は骨折しやすい、骨折すると治りにくいいため、予防が重要ということが常識的に知られているからでしょう。

「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。

骨が非常に細く、足が長い犬種です。橈尺骨のレントゲン写真を見て「こんなに細いんだ」と驚く人は少なくありません。このため少々の高さから飛び降りるだけで、橈尺骨(特に手首に近い部分)が簡単に折れてしまいます。

また、小型で活動的なために、**飛び降りる危険排除を** ドも同様です。橈尺骨は一度骨折すると、なかなか治りません。骨折が治癒しない状態を「癒合不全」と言います。癒合不全になると、骨折を繰り返す▽骨が吸収されて無くなってしまふ(骨吸収)▽骨折部が新たな関節のように曲がってしまう(偽関節)――

血液供給に影響 厄介なことに、トイ種やイタリアン・グレーハウンドは骨折すると、その部分に血液が供給されにくくなる骨の構造をしています。血液が届かなくなれば、骨を治す細胞や因子が骨折部に到達できません。正しい治療を

危険性は、まだまだ浸透しているとは言えません。橈尺骨骨折の予防には、小型犬の特徴を理解し、ある程度の高さから飛び降りるリスクを極力排除することが重要です。

骨折を放っておくと、一層治療しにくくなる場合があります。小型犬がジャンプをした後、「キャン」と鳴いて前足を上げるようにしては、橈尺骨骨折の可能性があるので、すぐにかかりつけの動物病院に相談してください。